

# 第 85回 ISO/TMB (技術管理評議会) 結果報告

経済産業省 国際標準課

基準認証専門官

猿橋 淳子

令和 4 年10月18日

# 今回のTMBに関して

- 皆様におかれましては、いつも標準化活動にご協力いただきありがとうございます。
- 今回のTMB会合は3年振りのISO総会中の開催となり、アブダビにおいて全員参加で対面で開催されました。
- だんだん対面の会議（ハイブリッドも含め）が増えてきており、新旧のネットワークの確立にもつながっているようです。
- SMB/TMB合同で作成した会議開催のガイダンス（欄外URL参照）をご活用いただき、引き続き安心・安全な状態での規格開発にご対応いただけるようお願い申し上げます。
- なお、今回調査結果もありましたが、時差の問題に関してはなくなることがありません。もし、何か困難な事象等が発生しましたら、ご連絡いただければ幸いです。

本資料の決議は簡易版ですので、正式なものは英語版でご確認ください。

# TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介（1）

---

## 1. 任務

### ●ISO規格作成に関する管理事務的事項

- ✓TC/SC/PCの設置・廃止、議長任命、幹事国割当、ISO/IEC専門業務指針の改訂等

### ●ISO規格作成に関する戦略的事項

- ✓規格開発の効率化・迅速化、TC/SC戦略ビジネスプランの審議・承認、TC/SC活動の調整・モニタリング等

# TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介（2）

## 2. メンバー（出席者） <TMBメンバーは全員対面！>

- TMB議長: Ms. Sauw Kook Choy（シンガポール）
- TMBメンバー（15名）： Mr. Steven Cornish（米）, Ms. Amanda Richardson（英）, Ms. Petra Scharf（独）, Mr Franck Lebeugle（仏）, Ms. Atsuko Saruhashi（日）, Ms. Karen Batt（豪）, Mr. Anton Shalaev（露）, Mr. Marcel Knecht（スイス）, Ms. Merete Holmen Murvold（ノルウェー）, Mr. Nelson Al Assal Filho（伯）, Dr. Mkabi Walcott（加）, Mr Roy Chowdhury（印）, Mr Cristian Vazquez（亜）, Mr Hussalmizzar Hussain（馬）, Ms Yubing Li（中）
- ISO中央事務局：  
Mr Marco Rossi（新部門長）, Mr. Antoine Morin TMB事務局長、ほか数名
- オブザーバー： Mr Ralph Sporer（SMB議長）、Mr Gilles Thonet（SMB事務局長）



# 【決議 77/2022】 仮想規格開発の加速及び支援

## Accelerating and supporting virtual standards development

### <背 景>

コロナ以前、規格開発を効率的に行うため、バーチャル（対面なし）での実施が検討された。本件は、そのプロジェクトの見直しを行った結果に関する審議。

### <審議内容> 議題 4.1

- コロナで状況が変化。本件終了は理解。
- ISOだけでやっていいのか？ 合同タスクフォースNew Normalではどうか。

### <結 果> 決議番号：77/2022

- 過去の経緯は理解しつつ、プロジェクトとしての実施は終了。
- 現在活動している、ニューノーマルに対応するISO/IEC合同のタスクフォースで、仮想会議のローテーション，対面会議モードの合理的な使用，発展途上国の参加の維持に関連するガイダンスを検討を依頼。
- ISO/IECの技術委員会への調査の回付を行い、
- 2023年3月までにTMB/SMBに推奨事項を提示することを依頼。

# 【決議 78/2022】 SAG ESG エコシステム – 最終報告書

## <背景>

ESGを議論するSAG (Strategic Advisory Group) が設置され、ESG エコシステムにおけるISOの価値や戦略などを提案するために議論した。その結果報告。

## <審議内容> 議題 5.2.1

- ESG-CC(ESG Coordination Committee) と CCCC (Climate Change Coordination Committee) は、別組織かまとめるべきか。HubとESG-CCの役割？。
- UNSDGsのMSSのMB投票。17分野とESGが別立てになるとまた複雑化。戦略的な案件に見えるため理事会への報告が必要では？ SDG s とESGとの考え方は？ SDGsは次回のTMB/WSの案件。
- ESG-CCは情報公開に注力し、CCCCは情報公開より横断的な大きい内容に対応。
- リソースの分配は注意して検討すべき。議長の決め方、ローテーションも重要。
- 関連ある規格がTCSCに分断されないよう、新規提案はESG-CCに調整を希望。
- IECをきちんと巻き込んでほしい。
- 今後に向けて、SAGの報告はSAG議長等が行うことが望ましい。

# **【決議 78/2022】 SAG ESG エコシステム – 最終報告書**

## **＜結 果＞ 決議番号 78/2022**

- ESG エコシステムに関する 報告書とその推奨事項を受領。
- ISO の内部及び外部の ESG 活動を効果的に調整するための ESG 調整委員会を設立。
- 任務、リーダーシップ、メンバーシップ、報告方法などを決定。
- また、ISO-SG に対しては外部組織との関与、
- ISO /CASCO（適合性評価委員会）にも、ESG 適合性評価ソリューションの開発，促進，及びパッケージ化などの支援
- ESG リソース ハブの提案をさらに検討
- 必要に応じた IEC とのリエゾンを確立 などを依頼。
- SAG ESGを解散。



# 【決議 79/2022】 水平規格類／出版物に関する ISO/IEC 合同タスクフォース – アップデート

## ＜背 景＞

ISOとIECで、多少異なったルールに基づいて開発されている水平規格類と水平出版物を少しでも統一させる方向に進めるための合同タスクフォース。

今回は、フランスのメンバー交代の承認。

## ＜審議内容＞ 議題 5.3.3

特になし。

## ＜結 果＞ 決議番号 79/2022

- 交代を承認。
- TMBメンバーから、本件に詳しい職員へ



# 【決議 80/2022】 包括的用語に関する JWG – 合同諮問グループへの変更

## ＜背 景＞

昨今のジェンダーに関係する用語に始まり、使うべきではない用語などの議論をすることが決定。

ISOとIECで合同で活動するためのグループを設置したが、今回はTMB/SMBに対して勧告を提案することが求められており、ISO/IEC Directivesとも整合性をとる意味で、Workingではなく、Advisoryが適切ではないかという事務局の提案。

## ＜審議内容＞ 議題 5.3.2

特になし。

## ＜結 果＞ 決議番号 80/2022

- 「包括的用語に関する合同作業グループ」から「包括的用語に関する合同諮問グループ」への名称変更を承認する。

# 【決議 81/2022】 ISO 20121:2012 持続可能なイベントに関するマネジメントシステム

## <背景>

Project Committee (PC) によって開発された規格を改正する場合の手続きをどうするか (Directives Annex K) が焦点。以前、TMBが割り当てたケースと整合することも併せて検討。

## <審議内容> 議題 6.1.1 Annex Kについて

PC廃止後：他のTC/SCがスコープを拡大して引き受けない場合、PCがTCに移行しない場合は、元のPCの国際幹事国がまずは責任を持つべき。PCが廃止されてから設立されたTCが引き受けられる可能性もある。

Annex Kの文章は変える必要はない。ISO/IEC Directives 2.9に書いてあるとおりでよいのではないか。必要であれば見直す。

もし元のPCに責任を持たせるのであれば、ISO/HPには廃止されたPCの情報（国際幹事国やPメンバーなど）を残す必要がある。

# 【決議 81/2022】 ISO 20121:2012 持続可能なイベントに関するマネジメントシステム

## ＜審議内容＞ 議題 6.1.1 ISO 20121およびISO 30500について

- TC 228がスコープを変更したのであれば、割り当て可能。現状、変更がないため、適切な専門性があるTCは当時と同じく存在しない。PC設置当時、観光業関係者はイベントは別のものとして引き受けを拒否。また、イベントグループやその専門家は観光業にまとめられることに懸念を表明。
- 販売数も多く五輪やサッカーなどイベントで使用。観光やスポーツのみではない。
- TMB決議の整合性を踏まえ、展示会用語をTC228に割り当てたように対応すべき。
- 規格改正開始にかかる時間、スピードを考えるとTCかPCか。手続きが簡単な方が。
- 各国での対応も踏まえるべき。TC 228の国内審議団体ではスコープを拡大して本件も対応できるようにしている。PCでの活動には反対。TC228で開発を希望。
- 近いもので、Guidance for evaluating sustainable sports gamesは北京オリンピックの結果や経験に基づき開発希望。そのため、セクター別の規格として扱い、TC 83の提案しなす。20121は、横断的なものであり、大所高所の案件。個別のセクター用の規格があってもよいと思う。
- オリンピックはイベントの一つであり、なぜ別の規格が必要か不明。

# 【決議 81/2022】 ISO 20121:2012 持続可能なイベントに関するマネジメントシステム

---

## ＜結 果＞ 決議番号 81/2022

- ISO/IEC Directives Annex K.7 : PCが開発した規格のメンテナンス の解釈は（統合版 ISO 補足指針箇条2.9に従う）メンテナンスプロセス全体のライフサイクル。
- JDMT に対し、適用に関する追加のガイダンスを提供するよう要請
- ISO/TC 228（観光業）が、スコープを見直しISO 20121 を含めて改正することに関心を示していることに留意し、
- ISO 20121 を開発したPC 250（イベントマネジメントにおける持続可能性）の幹事国BSI が、新PCを設立に関心を示したことにさらに留意し、
- 定期見直しの結果も踏まえ、ISO 20121改正のPC設立を承認。幹事国を BSI に。

# 【決議 82/2022】 ISO 30500:2018 非下水式公衆衛生維持システム – プレファブ式統合処理ユニット – 設計及び試験の一般安全及び性能要求事項

## <背景>

ISO 20121と同様、PCで開発された規格の改正をどうするか。

## <審議内容> 議題 6.1.1b

ISO 20121とほぼ同じため、同様に扱うような方向で議論。

## <結果> 決議番号：82/2022

- ISO/TC 224（上下水道）が、ISO 30500 をスコープに含めた上で改正に関心があること、
- ISO 30500を開発したISO/PC 305 - 持続可能な非下水道衛生システムの国際幹事国ANSI/ASNも、新PC設立および ISO 30500 改正のリーダーシップに関心があること、
- NP投票の結果を踏まえ、ISO 30500改正のためのPCの設立を承認
- Twinningの依頼を受けた場合、幹事国を ANSI に、指導される幹事国を ASNに。

# 【決議 83/2022】 ISO/TC 197の新SC設置（水素の大規模利用とエネルギーシステムへの水平展開）

## <背 景>

TC 197から新SCの設置提案がなされたが、決議延期となったもの。

## <審議内容> 議題 6.2.3

- 新SC1のスコープとTCのものをもう少し明確にした方がよい。
- TCが横断的なものならば、産業毎の他のTCSCとリエゾンを結んでほしい。
- コアな案件や持続可能性に関連するものはTC、横断的な協調が必要な案件はSC。SCでは個別に使われるものを対応。グリッドなどは扱わない。
- IEC/CABにおいて、水素の安全性に関するWGが設置される予定であり、TC 197とも協調する予定。

## <結 果> 決議番号：83/2022

- TMB投票中メンバーから受け取った延期投票とコメントとその回答に留意し、
- ISO/TC 197 水素技術の下に「水素の大規模利用とエネルギーシステムへの水平展開」に関する新しいSCの設置を承認し、特定された ISO/IECのTC/SCとのリエゾンを確立し、
- 新SCの名称とスコープを初回会合後に確認するように求める。

# 【決議 84/2022】 サプライチェーンとロジスティクスの分野における一貫性に関するTMBタスクフォースの設置

## <背 景>

2022年初旬より、海外倉庫やロジスティックに関連するTCやPCの立ち上げ提案が続き、提案前の調整の必要性が認識された。ロジスティックはほかでも扱っているTCSCがあり、どのように進めるべきかTMB内でも議論が開始された。

## <審議内容> 議題6.2.1

反対 1、決議延期 6。検討の必要性が指摘され、TFの設置が提案された。

- 本件は複雑。他のTCSCとも緊密に連携。TFを設置し見直すよい機会。
- TFの役割は、この案件をどこに引き受けてもらうか、ということか。
- TF設置はよいが、重複に関して確認する役割を与えるべき。
- バリューチェーンという考え方も必要。
- 一方、規格が細切れ（Fragments）になってちりばめられないようにすべき。  
→ もう少し一般的な・原則を議論するTFにしたい。ロジスティックスやサプライチェーンの中で一貫性があるようにしたい。



# 【決議 84/2022】 サプライチェーンとロジスティクスの分野における一貫性に関するTMBタスクフォースの設置

## ＜結 果＞ 決議番号：84/2022

- TFの設置を承認。
- メンバーは、ブラジル、フランス、マレーシア、日本、米国、ノルウェー、中国（共同リード：中国と米国）

## ＜委任事項＞

- 提案に対して受け取ったすべてのコメントの見直し。
- 重複する可能性がある進行中の委員会活動を検討。
- 2件の提案に対処する方法を含め、サプライチェーンとロジスティクスの分野における一貫性のための最善のアプローチに関する TMB への推奨事項を策定。

# 通信投票の決議

# 【決議 69/2022】 TMB行動計画（LDAP）の承認

---

## <背景／議論>

昨年、ISO総会において承認されたISOとしての気候変動への対応、ロンドン宣言に対して、TMBとしてのアクション計画を決めるべき、という議論の結果。

WSを3度開催しまとめたもの。規格をコンサルに確認させ、その影響度などを高中低などトラベル付けをすることで、緊急性を示すべきなどの意見あり。

## <結 果> 決議番号：69/2022

WSでの議論を踏まえ、TCSCに対して、気候変動に対して即時実行すべきな案件などをまとめた。

現在、コンサルが規格を確認中。

# 報告・討議事項 (決議なし)

# TMBに関するリスクの管理

- 理事会でISO全体のリスク表が承認。中間評価で各項目に低減策が追加提案。

|            |             | 2021 Yearly Risk Matrix |        |          |           | Target Risk Matrix |                              |      |           |
|------------|-------------|-------------------------|--------|----------|-----------|--------------------|------------------------------|------|-----------|
| Likelihood | Very likely |                         |        |          |           |                    |                              |      |           |
|            | Likely      | 12                      | 10, 15 | 1, 2, 9  |           | 7                  | 10, 12                       |      |           |
|            | Possible    | 14, 17                  | 7      | 3, 8, 16 | 4, 11     | 5, 4, 17           | 1, 2, 3, 4, 8, 9, 11, 15, 16 |      |           |
|            | Unlikely    | 5, 13                   |        |          |           | 6, 13              |                              |      |           |
|            |             | Low                     | Medium | High     | Very high | Low                | Medium                       | High | Very high |

01 – 市場のニーズを満たせない

02 – 競合の激化

03 – 知的財産の喪失

04 – 専門的資源の欠如

05 – 欠陥のある規格

06 – 罰則及び訴訟

07 – ISO資金のデフォルト（不履行）

08 – 外部との非効率的な協働

09 – 会員の結束とコミットメントの喪失

10 – 効果的ではない誤解を招くコミュニケーション

11 – 外部要因によるブランドの毀損

12 – 規制上あるいは政治上の変化

13 – 職員の不正行為

14 – 効果的でない調達及び第三者リスク（外部委託）

15 – 部分的な戦略展開

16 – データ/情報の検出された/されない紛失または変更

17 – 重要人物と知識の喪失

※12、13、14は、評価がすでに目標レベルを満たしているため、ここには含まれていない。 19

# TMBに関連するリスクの管理

- 「特定の市場ニーズを満たせない」、「欠陥のある規格」リスクへの追加の低減策

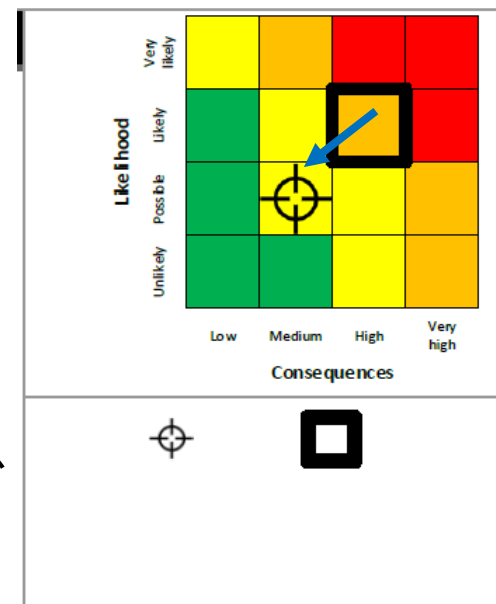
## リスク 01-特定の市場ニーズを満たせない

たとえば、市場が求める規格を、必要な時に発行できない、など  
(既存)

- ISO-SMART規格の開発プログラムを計画とおりに実施、他

(追加策)

- 将来課題とマーケットニーズの開発プログラムを始める
- 戦略的アドバイザリーグループであるSAG（重要鉱物、スマート農業、ESG）のメカニズムを使ったマーケットニーズの探索
- 新TC/PC提案の効果的なコンサルテーションプロセスの実施

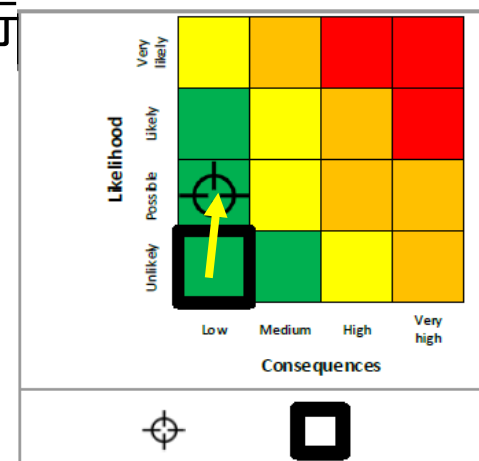


## リスク 05-欠陥のある規格

風評被害や訴訟の可能性がある技術的・編集的な誤りがある規格の発行  
(既存)

- 定期的な危機管理コミュニケーション計画の見直し
- 中央事務局によるコメント提供作業及び適切な校正
- 発行前の議長/委員会マネージャによる見直し
- TMBによる発行後のモニタリングなど...

(追加策) なし



# TMBに関連するリスクの管理（参考）

## リスク01-特定の市場ニーズを満たせない の低減策

| Current Countermeasures                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | Status            | Comments                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. Rolling Implementation Plan - "ISO SMART" programme                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | Under development | No changes                                                                                                                                                 |
| 2. Rolling Implementation Plan - "Improved development process" programme                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | Under development | No changes                                                                                                                                                 |
| 3. Rolling Implementation Plan - "Customer Matters" programme                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | Under development | New mitigation action                                                                                                                                      |
| 4. DEVCO WG 1 "methodology for the identification of standardization areas of primary interest to developing countries"                                                                                                                                                                                                                                                                                   | Under development | No changes                                                                                                                                                 |
| 5. Foresight framework                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | Under development | Removed as it is already included in the mitigation action <i>Rolling Implementation Plan - "Future Challenges and Market Needs" programme</i> (n°7 below) |
| 6. Rolling Implementation Plan - "Digital collaboration" programme                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | Next in line      | No changes                                                                                                                                                 |
| 7. Rolling Implementation Plan - "Future Challenges and Market Needs" programme                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                   | New mitigation action                                                                                                                                      |
| 8. Special measures taken in the context of the COVID-19 crisis:<br>- 100% of meetings converted into virtual meetings or postponed until after the crisis<br>- New guidance prepared to support virtual work of technical community- TMB measures to facilitate virtual work<br>- Close monitoring of the effectiveness of the virtual work<br>- Relevant Standards during the pandemic freely available | In place          | No changes                                                                                                                                                 |

|                                                                                                                                 |          |                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------|
| 9. Strategic programme Coordination Group (SPCG) scope of work                                                                  | In place | No changes            |
| 10. COPOLCO proposals for NWIP and new areas of standardization that reflect consumer needs                                     | In place | No changes            |
| 11. Creation of a CASCO Task Force to evaluate the CASCO toolbox, to ensure it remains relevant and adapted to the users' needs | In place | No changes            |
| 12. Strategic advisory group (SAG) mechanism to study the market needs for standards, such as the                               | In place | New mitigation action |
| SAGs formed by TMB on smart farming, ESG, Critical Minerals                                                                     |          |                       |
| 13. Effective consultation on new Technical Subject Proposal (TS/Ps)                                                            | In place | New mitigation action |

## リスク05-欠陥のある規格 の低減策

| Current Countermeasures                                                              | Status   | Comments   |
|--------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|
| 1. Periodic review of the crisis communication plan                                  | In place | No changes |
| 2. ISO/CS balloting/commenting process and in-house editing and proofreading process | In place | No changes |
| 3. Final review by committee leaders before publication                              | In place | No changes |
| 4. Continual improvement of automation to prevent the introduction of errors         | In place | No changes |
| 5. TMB monitoring of corrections after publication                                   | In place | No changes |

# 参考 (ご紹介)



# SPCG (Standardization Programme Coordination Group) について

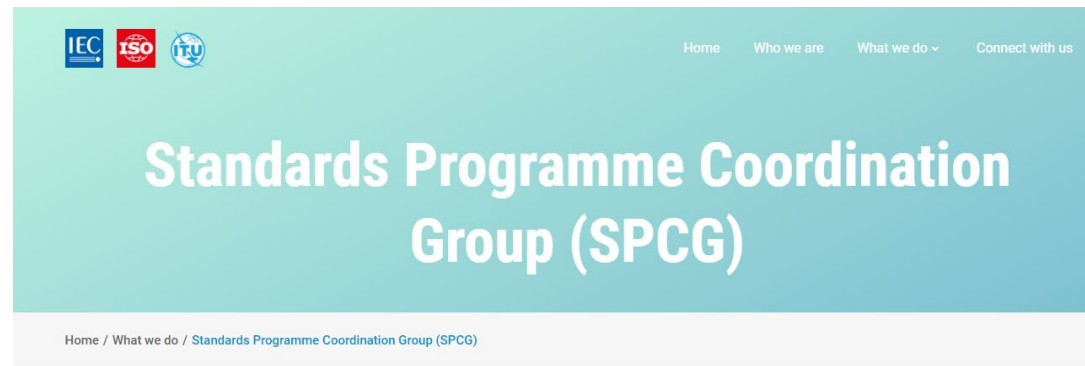
- 2022年12月に第17回SPCGハイブリッド会合をウィーンで開催予定。
- 2023年1月下旬にWSをオンラインで開催予定。

ISO/IEC/ITUにおいて、内容が重複しているTC (SG) 設置の回避や、3 機関が重複した規格開発の結果、機関毎にほぼ同じ内容の文書が発行されることを防ぐことなどを目的に、2019年夏に設置。（日本からは、当初よりTMB委員が参加。）

- ①新TC/SGの提案が機関から回覧された際の対応
- ②既存のTC/SG間で重複やその他問題が発生した際の対応
- ③SPCGの責任外の問題（著作権、有償無償問題など）は適宜関連部署へ
- ④SPCGは決定機関（Boards: ISO/TMB, IEC/SMB, ITU/TSAG）に報告
- ⑤SPCGメンバーは、文書へのアクセス権を持ち、規格開発のためにそれぞれの機関の適切な関係者に文書を送付（著作権等の遵守は必須）
- ⑥ 3 組織で実行中の同じような案件のTC/SC/SGのリストの作成（Landscape文書）

# どのように広報中？

右のイメージに到達したら、下にスクロール！



## SPCG objectives

Coordination of new fields of technical activity:

- Review all new proposals for new fields of technical activity under consideration in, IEC, ISO and ITU's Telecommunication Standardization Sector (ITU-T)
- Identify early areas of common interest (and future challenges) in new standardization activities proposed in the three organizations
- Provide recommendations and mechanisms for coordination, collaboration and joint work to the respective technical boards (SMB, TMB, TSAG);

## Official documents and operational information

SPCG Membership

[Download](#)

SPCG terms of reference

[Download](#)

SPCG Coordination IEC/ISO/ITU-T (Landscape of fields)

[Download](#)

SPCG Key performance indicators

[Download](#)

SPCG Effective Coordination Paper

[Download](#)

SPCG AI/ML landscape

[Download](#)

ランドスケープ文書！

### Landscape of ISO/IEC/ITU-T existing Fields

Status: 6 December 2021

| Field                                                 | ISO TCs <sup>1</sup>                                        | IEC TCs <sup>2</sup>                                                                | JTC 1/SCs <sup>3</sup>         | ITU-T SGs <sup>4</sup> , FGs                                | Dedicated and other related Coordination                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                       | • TMB                                                       | • SMB                                                                               | • SMB & TMB                    | • TSAG                                                      | • IEC SMB/ISO TMB/ITU-T TSAG Standardization Programme Coordination Group (SPCG)<br>• World Standards Cooperation (WSC)<br>• Global Standards Collaboration (GSC) |
| Access Networks, Transport Networks, Optical Networks | • ISO/TC 204 Intelligent transport systems                  | • IEC/TC 86<br>• IEC/TC 100<br>• IEC/SyC Communication Technologies & Architectures | • JTC 1/SC 6                   | • ITU-T SG15<br>• ITU-T SG9                                 | • ITU/WMO/UNESCO IOC Joint Task Force to investigate the use of submarine telecommunications cables for ocean and climate monitoring and disaster warning         |
| Accessibility, Human Factors, User Interfaces         | • ISO/TC 37<br>• ISO/TC 159<br>• ISO/TC 173<br>• ISO/TC 314 |                                                                                     | • JTC 1/SC 35                  | • ITU-T SG2<br>• ITU-T SG9<br>• ITU-T SG16<br>• ITU-T SG20  | • Joint Coordination Activity on Accessibility and Human factors (JCA-AHF)                                                                                        |
| Active Assisted Living                                | • ISO/TC 314                                                | • IEC/SyC Active Assisted Living<br>• IEC/TC 64<br>• IEC/TC 61                      |                                | • ITU-T SG16                                                |                                                                                                                                                                   |
| Agriculture, smart farming                            | • ISO/TMBG/SAG on Smart Farming<br>• ISO/TC 23              | • IEC/SMB SEG on Biodigital Convergence                                             | • JTC 1/SC 41<br>• JTC 1/SC 42 | • ITU-T SG5<br>• ITU-T SG13<br>• ITU-T SG16<br>• ITU-T SG20 |                                                                                                                                                                   |

# ウクライナ・ロシアについて（前回から変更なし）

## ＜事務局長からの連絡＞

- ロシア主導で行われる全会議は通知があるまで延期。ただし、投票用文書の発行、ISO/CSへの原案提出、CIBに関する決議など、その他の委員会活動はすべて許可。

## ＜ロシア主導が以下の場合＞

- CM（委員会マネジャー）
  - ・ 更なる通知まで全会議を延期。重要な決定はCIBで代替。
  - ・ ロシアの主導ではないWG、AGは通常通り会議を開催し、活動が可能。
- 議長
  1. CMもロシア：更なる通知まで全会議を延期。重要な決定はCIBで代替。
  2. CMはロシア以外：参加者は会議のセッション議長を選出可
  3. オプション2.が不可能な場合：ISO TPMによる会議の進行を検討。
- コンビーナ
  1. 会議は延期。但し、他のすべての活動は許可。
  2. プロジェクト期限厳守のために会議開催が不可欠と判断された場合：
    - 親委員会（TC/SC）議長（ロシア以外）が対応 または、
    - WGの専門家が、会議のセッションコンビーナを指名可能。
  3. オプション2.が不可能な場合、ISO TPMによる会議の進行を検討。

# 表彰制度の活用

- ローレンス D アイカー賞
- 次世代賞
- ISO優秀賞
- 産業標準化事業表彰

参考 <https://www.iso.org/iso-awards.html>

- ローレンス D アイカー賞： 優秀なTCやSCの活動に対して、年に1つの委員会に対して授与される賞。自薦他薦問わず、4月末頃までに申請。受賞委員会は、総会で表彰される。
- 次世代賞： 18～35歳までの標準化機関の職員に対して、持続可能性などを踏まえた標準化の経験に基づいて申請。毎年一人が受賞し、6ヶ月のISO中央事務局への出向の機会が与えられる。
- ISO優秀賞： 前年に出版された規格に携わった専門家個人に与えられる賞。委員会の国際幹事国を通じて、TPM（ISO中央事務局）に提出する。人数などの制限無し。
- 産業標準化事業表彰

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/keihatsu/hyosho/R04hyosho.html>

# ありがとうございました

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/index.html>

日本産業標準調査会ホームページ

<https://www.jisc.go.jp/>